

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年12月号

「自分に勝つ」

校長 藤井 貞彦

ついこの間までは、秋らしく過ごしやすい日が続いていたのですが、先週から急に冷え込みが厳しくなりました。毎朝、見守りの皆さんとも「今日も寒いですね～」というあいさつを交わしています。先月は日曜参観・個人懇談会と多くの保護者の皆さんに学校に来ていただきました。学校での子どもたちの様子を見ていただいた上で、懇談会でお話のできたので、大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。



この月末に、ようやく修学旅行を実施することができました。9月末の予定が、コロナウィルス感染症の流行によって延期せざるを得ませんでした。6年生は、行けるかどうか不安な気持ちが大きい中でも、修学旅行の取り組みをしっかりと進めていました。旅行当日は、どの子も彼方小学校代表の自覚を持って立派な行動を見せてくれました。帰ってきたときの彼らの満足そうな笑顔を見て、本当に良かったと思いました。改めて当たり前前に学校行事を実施できることのありがたさを感じた2日間でした。

さて、いよいよ1年納めの12月になりました。12月の別名は「師走（しわす）」で、いつもは落ち着いているお坊さんも走り回るほど忙しい月だと言われます。「走り回る」と言えば、このところ運動場のトラックを子どもたちが一生懸命走っている姿を目にします。体力作りの一環として持久走に取り組んでいるのです。今年も諸事情から学校として、マラソン大会は中止にさせていただきました。持久走とマラソン（長距離走）、どちらも長い距離を走るという共通点はありますが、基本的に別の競技です。何が違うのか皆さんは知っておられますか？二つの違いを簡単に言うと「他人と競うかどうか」ということになります。他人と「競う」のがマラソン（長距離走）「競わない」のが持久走なのです。

小学校の体育で扱うのは持久走で、長い距離を速く走るのではなく自分の力をコントロールした状態で走りきることをめざします。苦しくても最後まで走りきるために、自分なりの目標を立てることが必要です。そのことで自分自身の体力を向上させるだけでなく、自分の体力や体調を意識してペースを考えることを学びます。本校では、持久走に続いて3学期には縄跳びにも取り組む予定です。これらの取り組みを通して、運動の得意な子だけでなく

運動が苦手な子どもたちも自分に負けない精神力を養い、大人になっても健康のために楽しく運動を続けられるようになって欲しいと願っています。

かく言う私も「校長先生、一緒に走ろう～」と声をかけられても、「また今度ね。」なんて言いながら逃げていた弱い自分に勝たなければと決意を新たにしたのでした。（えらいこと 書きちゃったな・・・）

